

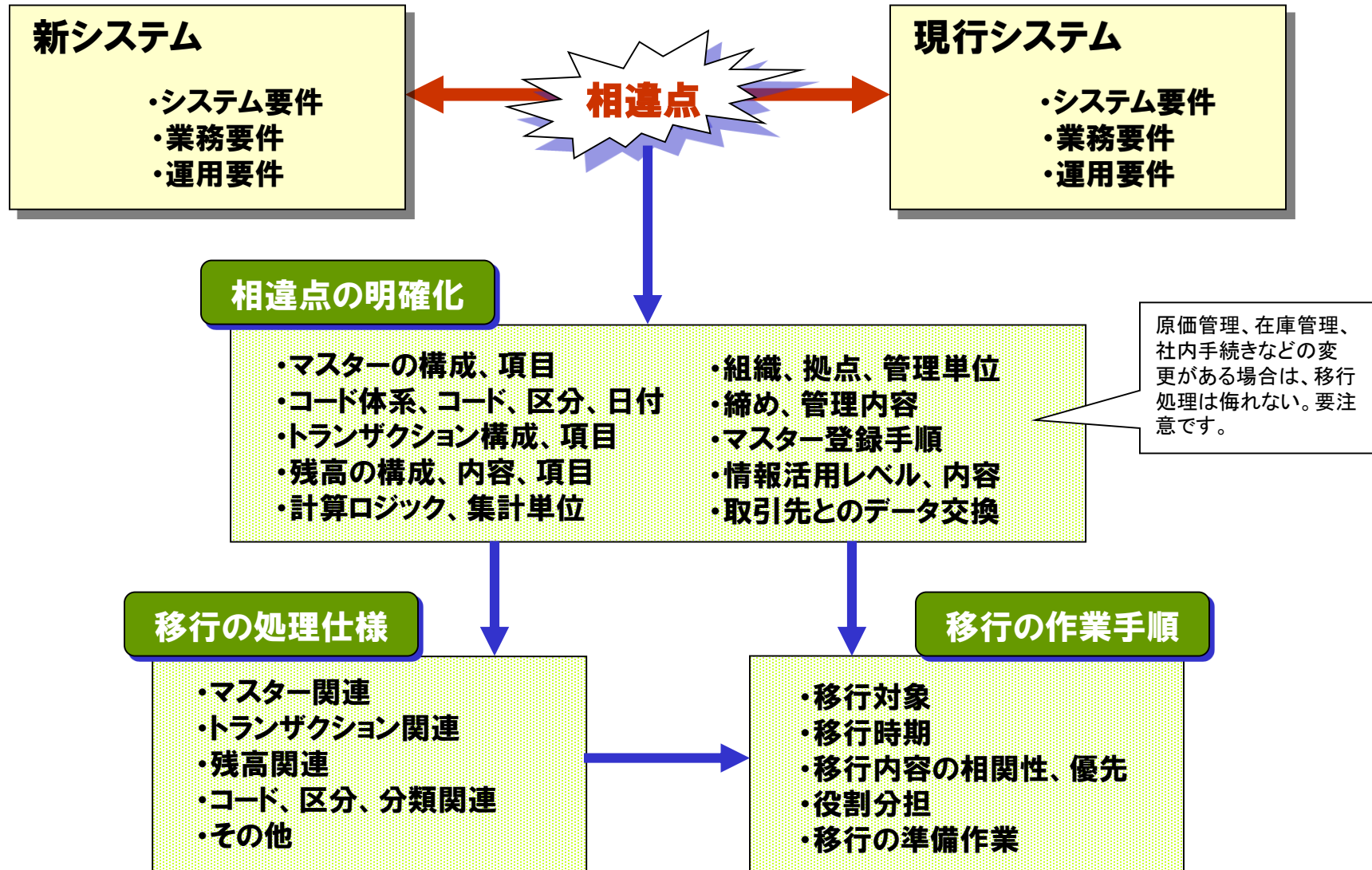


「移行処理」 のシナリオ

1. 移行処理の体系
2. 「移行処理」で想定される課題
3. 課題解決のシナリオ

1. 移行処理の体系

- ・新システムを稼働させるためには、現行システムからの移行作業は避けて通れない道であります。この移行作業は、通常次のような作業体系で構成されております。これらの作業体系に基づいて必要な作業内容を詰め、移行処理の効率性と安全性を向上させることも大事な要件になります。



2. 「移行処理」で想定される課題

- ・新システムの軟着陸を図るためには、移行処理をスムーズに事を運ぶ必要があります。そのためには、想定される課題を押えておくことが必須です。その課題内容を理解することによって、解決策も容易に行え移行処理の確実な実施も可能になります。

① 新／現行システムの相違点把握

- ・現行システムの標準仕様処理を基準にしての特殊仕様(取引先対応・商品対応・・・)処理の把握と整理。移行処理への反映の特定。
- ・マスター／トランザクション／残高などの移行対象に対して、現行システムにおける精度及びコード変換などの特殊処理投入の有無の判断。
- ・業務要件(組織・拠点・・・)と運用要件(取引先データ交換・・・)からの変更有無とその反映の仕方の内容確認。
- ・現行システムになく新システムにおいて新たに発生した追加要件(マスタ・トランザクション項目・・・)の対応の仕組みの確定。

② 新システムに対応した業務の確定

- ・新マスター／新追加コードなど、業務上としてのマスター登録・コード登録などの登録用紙の確定と登録手順の標準作業の確立。
- ・新システムに対応した新業務のあり方(入力／出力利用・管理ポイント・情報活用・・・)の利用者への徹底と納得のいく業務改定。取引先関連への事前案内の整理。
- ・新システムでの業務処理(改善点・変更点)の対応確認。(例:原価管理・在庫管理のあり方)

2. 「移行処理」で想定される課題

③ 移行処理システムの仕様確定

- ・移行対象になるマスター／残高／トランザクションDBの確定。
- ・対象となる現行システムのマスター、残高、トランザクションDBの抽出処理及び新規登録と新システムに合致したフォーマットの作成。
- ・マスター関連のキー項目における(1:1、N:1、1:N)移行関係と新規追加項目への対応とマスタキー間の相関性の確認。
- ・構成マスターにおけるマスター間の相関性と項目の相関性及び登録時優先の確定。
- ・残高／トランザクションのキー項目における(1:1、N:1、1:N)移行関係と新規追加項目への対応と作成する上での相関性の確認。また、マスターとの相関検証・項目の設定などの処理内容の確認。
- ・新システムに投入された各DBの正確性／整合性の検証方法の確立。
- ・簡易ツール利用による工数の抑止。

④ 移行処理の作業手順

- ・「移行処理システムの仕様」に基いた設計／PG作成／テスト／検証／本番の作業内容の確定。
- ・移行処理に要する処理時間の把握とそれに基づいた本番移行の手順確定。
- ・ベンダと自社の効率よい役割分担と責任の明確化。取引先関連への案内。
- ・リスク要因の洗出しと可能な事前防止策及び回避策の作成。(コンティンジェンシープラン作成)

*コンティンジェンシープラン=不測の事態を想定して、対応策を計画として作成する

3. 課題解決のシナリオ

- ・移行処理の課題を解決するためには、想定される課題に対して包括的に移行処理を捉えることが肝要です。作業内容・作業手順・作業スケジュール・役割分担といった側面から移行処理を組み立てることに尽きると考えます。

① 作業内容

* 新システム構築の作業の中で、移行処理を確実に実施するために必要なポイントをあげてあります。

A. 現行システムの調査・整理

- ・移行処理に必要な現行システムの基本的な処理仕様と例外処理の抽出
- ・現行システムの曖昧な処理と項目(区分、コード、日付)の洗出しと整理
- ・サブシステム間のデータ連携とその処理仕様、過去データの取扱い
- ・プログラム内の特殊処理(コンスタント処理など)の洗出しと整理
- ・使用マスター／残高／トランザクションのキー項目及び使用項目の内容確認
- ・マスターなどの項目が不足しているための追加処理(PCなど)の精査
- ・各データベース間での不整合の発生有無及び数値情報の不一致の確認
- ・トラブル発生頻度の高い処理とその原因の明確化
- ・取引先とのデータ交換における例外処理・手作業対応の確認
- ・二重入力の内容と理由の明確化

B. 新システムの検討(コンセプト含む)

- ・業務系／情報系／管理系／運用系／マスター系に立脚したデータベース設計
- ・データベース項目の整合性・相関性の保証(DB内・DB間の1:1、1:N、N:1を含む)
- ・データベース項目、コード・区分類及び日付の定義と一元管理
- ・現行処理仕様の移植範囲の特定
- ・サブシステム間のデータ連携・運用連携の容易さ
- ・業務系システムと情報活用系システムの独立性維持

3. 課題解決のシナリオ

C. 相違点の整理

- ・「A. 現行システムの調査・整理」と「B. 新システムの検討」の作業完了において、その相違範囲を決める。
- ・詳細の相違点は、詳細／カスタマイズ／アドオン設計が完了した時点で整理し確定。

D. 業務処理としての確定

- ・詳細／カスタマイズ／アドオン設計完了時点で、自社の業務処理としての確定。
- ・入出力類の使用内容としての確定。
- ・情報活用に必要な情報項目の確定。
- ・マスター、コード体系、区分及び日付の確定。

E. 移行処理システムの設計

- ・マスター／残高／トランザクションの移行仕様と移行時期(稼働前・後を含む)を確定。
- ・ツール利用／プログラム作成／手入力などの作業の確定。
- ・移行処理の基本設計を作成し確定。
 - －マスター／残高／トランザクション移行の相関性・タイミング
 - －移行時期とその対象DBの特定、同一項目のDB簡の相関性
 - －サブシステム稼働との連携時期
- ・仕様書／製造／テスト／検証作業の計画策定、過去データの取扱いと仕様確定
- ・新システム「テスト計画書」への反映と連携

F. 移行処理の作業手順

- ・移行対象DBと移行タイミング／スケジュールの確定、社内作業の責任体制の確立
- ・本稼働システムとの連携手順の確定
- ・移行作業手順書の作成(対象DB、作業項目、日時、検証、担当・・・)
- ・コンティンジェンシープランの作成

3. 課題解決のシナリオ

② 作業の基本手順

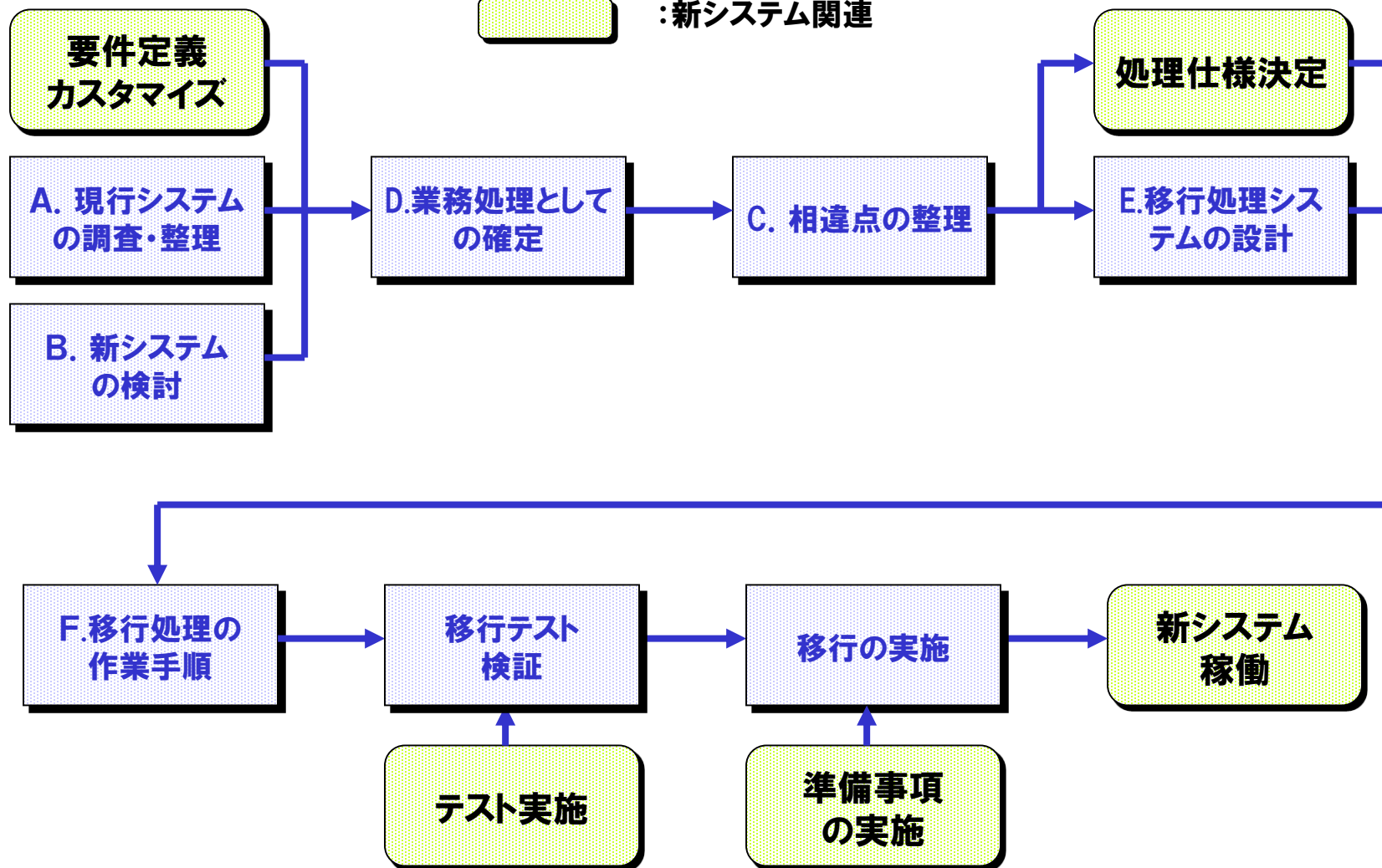
* 移行処理に必要と想定される作業項目とその相関性を記述します。



: 移行処理関連



: 新システム関連



* 移行した新システム用のDBを使用した新システムのテストも必須です。

3. 課題解決のシナリオ

③ 役割分担

・移行処理に関するベンダと自社の役割分担は次のようになります。

	自社	ベンダ
A. 現行システムの調査・整理	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の実施 ・調査結果の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の依頼 ・調査結果の確認
B. 新システムの検討	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様要件の提起 ・処理仕様、カスタマイズの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理仕様の纏め、整理 ・カスタマイズ/アドオンの実施
C. 相違点の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・基本相違点の纏め、整理(共同) ・現行システムからの整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本相違点の纏め、整理(共同) ・新システムからの整理
D. 業務処理としての確定	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者に対する説明と確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明と確認への支援
E. 移行処理システムの設計	<ul style="list-style-type: none"> ・現行システムから新システムのDBまでの処理設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・新システムとしての受入検証とDB投入処理の設計
F. 移行処理の作業手順	<ul style="list-style-type: none"> ・作業手順書、コンティンジェンシープランの作成(共同)、社内体制確立 ・上記設計の対象範囲 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業手順書、コンティンジェンシープランの作成(共同) ・上記設計の対象範囲
移行テスト・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト計画書の作成(支援) ・上記設計範囲のテスト/検証担当 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト計画書の作成(主体) ・上記設計範囲のテスト/検証担当
移行の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・上記設計範囲の実施担当 ・取引先関連への事前案内 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記設計範囲の実施担当